

# けんちく茨城

ARCHITECTURE IBARAKI 2020.10 VOL.104



一般社団法人

茨城県建築士会

<http://i-shikai.com>

# けんちく茨城

2020.10.14 第104号

page	目次
01	新役員・新支部長に聴く
08	支部長・委員会委員一覧
10	建築作品紹介 下妻市立下妻中学校
12	ようこそフレッシュマン／Welcome Freshman!!
	<b>委員会活動報告</b>
14	研修委員会 令和2年度 既存住宅状況調査技術者講習 レポート
15	情報・広報委員会 茨城県震災建築物「応急危険度判定士」講習会の開催
16	青年委員会 第44回 ソフトボール大会
18	女性委員会 わくわくセミナー
	「電気契約 5アンペアで暮らす」
	「雨漏りの事例と対処方法」
	「田んぼに家を建てる」
	ラブアークセミナー
	「明日からできる！整理収納セミナー」
題字	大井川 和彦 茨城県知事
表紙	下妻市立下妻中学校 設計・監理 株式会社 三上建築事務所
発行	令和2年10月14日
次回	令和3年2月5日予定
部数	2,200部
発行	一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸 〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330 E-mail kyy05413@nifty.com
編集	情報・広報委員会 川又 晴彦 中山 和朗 児玉 欽司 成田 孝成 大山 早嗣 武居 公江 浅野祐一郎 石黒 幸喜 塙 万治 軽部 守彦 沢畑 一成 山田 一博 中村 正明 谷島 正憲
デザイン・印刷	株式会社 高野高速印刷



# 新役員・新支部長に聴く

(今年度、新たに就任された方にお聞きしました)

副会長 ひたちなか支部長  
川又 晴彦



この度、(一社)茨城県建築士会副会長という大役を仰せつかり、非常に恐悅至極に存じます。まだまだ数多くの諸先輩のいらっしゃるなか、私のような若輩者がこのような役職を引き受けてよかったのだろうか、今でも思っております。何の力もございませんが、皆様のお力をお借りしながら、建築士会の発展のため尽力して参る所存です。

以上、抱負でした。・・・で終わってしまっては申し訳ないのでもう少し。先ずは今感じている世間話など一言。

世の中、東京オリンピック開催で一時期盛り上がっておりましたが、当時の国立競技場建設や、エンブレム問題で興ざめしてしまったことを思い出します。競技場については、無事完成し、いよいよと言う時にコロナ禍により開催延期。また、建築に携わる一人として競技場完成を興味深く見守っていたこともあり、華やかであろう開会式ができるか、はたしてこのままスムーズに進むのか不安に思うのも事実です。(開閉会式を含め陸上競技等応募したが全部落選)早く活気のある世の中に戻ってほしいも



タオレンジャー

のです。

我が建築士会に目を戻しますと、若手建築士の減少や会員の高齢化により、年々会員数の減少が止まりません。これは全国的にも同じことが言

えます。国も懸念しているように、これからも益々人口減少により各方面で厳しい状態が続くことでしょう。しかしながら、建築士という専門の知識や技術を持った集団が一致団結し、協力体制を整え、世間にアピールして行くことにより何らかの打開策を模索して行くことが大切ではないかと考えます。

若手の育成も重要であり、また機会があれば小中学生向けに建築に関する行事などを取り入れ、興味を持ってもらうようなことが出来たらとも思っているところです。個人的には、コミュニティ組織や、学校の協力を得て地震や津波の話、また耐震についての実験や模型作りなど地域活動もしてきました。このような活動を建築士会として各地域で行えたら良いのではと思います。



映画俳優きむちたくや



バルーンヨウスイ

副会長 県央支部長  
高槻 一雄



この度はこのような大役を仰せつかり、身の引き締まる思いでおります。

建築士会の役割は、災害対応や社会への提言などの職能を生かした公益活動、

講習やセミナーなどを通しての建築士の資質の向上など多岐に渡ります。

その中で、建築士会の会員にとって建築士会は、所属している会社の枠を超えて、交流・活動することができる“場”です。各々の仕事を通してだけでは出会うことがなかった人たちと出会い、経験することのできなかつた経験を得ることができます。私が建築士会に入会して早いもので40年を超えようとしておりますが、私にとってもまたそのような場でありました。

しかし、多い時で3000人を超えていた会員数も、2000人を割るといふ時代に入りました。少子高齢化という社会情勢の中で他の職能団体の多くがそうであるように、当会にとっても会員数の減少や会員の年齢構成の上昇は現在、大きな課題となっております。

これからの建築を担う若い世代の建築士にとって、やりがいのある、魅力ある建築士会にしていくためには、若い世代の建築士の方々に、さまざまな活動に企画から参加していただくことが必要不可欠と考えております。そのための環境づくりに尽力していきたいと思っております。

コロナ禍の影響により、会員の皆様におかれましても様々なご苦勞をされていることと思います。建築士会の活動においても思うように活動できない状態が続いておりますが、皆様のご協力を頂きながら精一杯務めていきたいと思っております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



常務理事 筑西支部長  
中山 和朗



この度、一般社団法人茨城県建築士会常務理事を拝命しました中山 和朗（本年度から筑西支部長）と申します。支部長という大役を受け、何分至らない事や

不慣れな点が多々ある処、常務理事を拝命したことは大変光栄なことではありますが、身の引き締まる想いです。皆様のお力を借りて、微力ながら頑張りたいと思っておりますので、何卒よろしくお願ひ致します。

近年、少子高齢化、情報化、グローバル化などが進展する中で社会全体が混沌としてきており、建築士会を取り巻く環境も大きく、速いスピードで変化しています。また、この度の新型コロナウイルス問題で、日本のみならず、全世界で過去に類がないくらいの様々な影響を受け、先が見えない状態です。

会員の皆様方にも、体調管理に気をつけて行動して戴きたいと思っております。

支部の事業計画・方針についてですが、県事業同様、理事・役員で検討はしているのですが、なかなか事業実施には至っておりません。しかし、筑西支部では、総務委員会、企画研修委員会、交流委員会の組織の基、企画運営に当たり、参加しやすい活動、魅力ある活動を目指してまいりますので、何なりと、皆様方からのご要望等の意見を戴ければ幸いです。現在、企画研修委員会では、第2回オンライン委員会を実施計画しています。このような積み重ねが、今後とても大切であると思っております。建築士会は、建築士の資質向上や技能維持向上と共に建築士の多様な職能や会員相互のネットワークをフルに生かしながら社会課題の解決への取り組みや、地域発展に貢献していこうとする団体です。

皆様には、各々の知識や知恵を仲間である会員に教えて戴き、各支部事業に参加して戴くのは勿論のこと、県建築士会や各地域事業に参加して戴き、会員同士屈託のない意見交換しつつ、仲間を増員していこうではありませんか！

これまで以上に、ご協力とご支援をお願ひ致しまして挨拶とさせて戴きます。

常務理事 県央副支部長  
益子 一彦



建築士会は資格団体です。その資格は言うまでもなく建築士です。建築士資格の法的根拠は建築士法にあります。

その建築士法第1条には目的として「・・・、その業務の適正を図り、建築物の質の向上に寄与させること」とあり、2条の2には建築士の職責として「建築士は、常に品位を保持し、・・・建築物の質の向上に寄与するように、・・・」と謳われています。さらに、第3条にあっては建築士でなければ設計できない建物が列挙されています。

ます。

解釈すれば、建築士は「日本において建築の設計をする」という法律上の行為を独占する権利を与えられた資格であり、そして建築士会はその資格を有する人たちだけが加入する団体です。

茨城県建築士会常務理事の役割を頂いたこの機に建築士法の条文と邂逅し再咀嚼するとき、些か重い何かを押し掛かれる思いがします。その重さを感じながら、公共の福祉に寄与することに微力を尽くすべく背筋を伸ばしてこの重責に取り組みたいと思います。会員の皆様にはお世話になることばかりかと思いますが、ご理解の上ご協力下さいますようよろしくお願いいたします。

竜ヶ崎支部長 秋山 穰



この度、歴史ある建築士会の支部長の大役を仰せつかりつかり、責任の重さを痛感してあります。

二十歳代のころ机の上での設計では納まらない事があると感じ、自ら設計・積算・基礎鉄筋・鉄骨加工・溶接・建て方などを25年ほど現場での経験を経て、デザインビルド方式で、県南の地域で鉄骨構造建築をメインで設計施工監理業を営んでおります。

支部の事業計画として建築相談会の開催・建築制度の普及宣伝及びホームページの運営・建築パトロール・会員、家族の親睦会（ゴルフ等）・苗の配布・木造住宅耐震診断への協力を計画しています。

若手の人材育成として、本年は「新型コロナ」で開催が行われなかった「茨城県の元気な森林づくり事業」での地域の交流及び木工体験を経て、子供たちが建築への興味を持ってもらえ”未来の建築士”へと育てて頂ければ幸いです。東京オリンピックの開催時期の支部長として、楽しみながら思い切って邁進して行く所存であります。

## 久慈支部長 市川 三和子



日頃より大変お世話になっております。

本年度より茨城県建築士会久慈支部の支部長に就任することとなりました市川三和子です。

久慈支部の事業計画の柱となっているのは、常陸太田市で開催されている「子育てメッセ」と「常陸秋そばフェスティバル」への参加です。

未来を担っていく子供達と段ボールハウスを作成したり、地域の皆さんが元気になれる行事に参加・お手伝いさせていただきます。

又、大子の会員の方から「地元の山の木で家を創ろう」という一般の方に参加頂き、山や木の事、そして私たちの仕事や活動についても理解を深めてもらえるような勉強会の提案を頂いています。

久慈支部の会員は素晴らしいパワーがあります。

私の仕事はその声を聴き、人と人とを繋げて協力して形にしていくことだと考えています。

支部長というには未熟な点が多々ありますが、皆様のお力添えを頂きながら精一杯頑張っ頑張って務めさせていただきます。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

## 鉾田支部長 桐原 栄



皆様こんにちは。この度、ご承認を受けまして、鉾田支部長を拝命いたしました桐原 栄 と申します。県と支部と各会員の皆様とをつなぐ、どこまで出来るかという不安はございますが、精一杯努める所存です。

本年度、コロナウイルス感染症が広がる渦の中、会員の皆様はじめ多くの人たちが影響を受け、活動自粛の中で改めて社会、会社や学校など、周囲からの支えや与えに気が付きました。

仕事や健康そして家族、感謝の心を忘れず支え合いながら本会の支部活動を今までと違った交流、繋がりを模索し会員の皆様のご協力を仰ぎながら、地域貢献活動など一歩ずつ進めてまいりたいと考えております。

どうぞよろしくお願い致します。



## 高萩支部長 佐藤 利雄



4月に高萩支部の支部長を老齢乍ら、大役を仰せつかり就任する事に成りましたが、新型コロナウイルスが猛威を振る中、感染防止の為、今もって支部活動（新役員・会員との会合）停止中です。会員の健康管理が最優先と居るところです。人類の敵、ウイルス疫病対策のため早くワクチン開発し、終息を願うばかりです。感染が穏やかになり次第に会員皆様と会合を図り、高萩支部の令和2年度事業計画、7項目中から（会員増強及び組織の強化。研修・見学会の実施）二点を選び、会員皆様共に古利・遺産施設等の見学など行い、見聞を深め支部会員同士のコミュニケーションを図り、当会に新資格取得者が快く喜んで入会して頂ける様に、又、高萩支部の発展と地域建築士のステータスに微力ながら寄与して参りたいと思っています。



## 社会に親切

## 石岡支部長 島田 哲



人のために何かをする、人を助ける、それによって、助けた人も助けられた人も、幸福を感じ、幸せホルモンが体内で分泌されます。幸せホルモンは「無敵の自己治癒力」といわれていて、運動している人よりも健康寿命を長くするという研究結果も報告されています。人に親切、社会に親切にすれば、人にも良く、自分にも良く、社会も良くなります。

これまで先輩方が築いてきた伝統を大切に、「社会に親切」という心を持って、地域社会とのつながりを広げ、会員のつながりを深める一年にしたいと考えて、今年度活動していく所存です。新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大する中、集会などで多くの人が集まる事が難しい時期ではありますが、会員皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

本年度の主要目標は、

- 1、同じ目標に向かうため、ITなどを使い、情報の共有を広く進めます。
- 2、会員相互の親睦を図り、支部のより一層の充実を目指します。
- 3、現会員の維持と新入会員の増強に努めます。
- 4、小学校の絵画展や研修旅行など継続事業を大切に、実施していきます。
- 5、建築士の立場で地域のまちづくりに貢献します。
- 6、事業活動を通じて、建築士会の認知度の向上を図ります。

## 支部長就任にあたっての抱負

土浦支部長 塚本 美明



本年5月、土浦支部通常総会により、支部長を仰せつかりました。土浦支部に於いても、会員減少の波はきております。土浦支部は、6つの委員会・部会及び賛助会があり、各委員長・部長を中心に、事業活動を継続しながら会員相互の活性化に努め、「楽しい支部・魅力ある支部」を合い言葉にして、新規会員の入会を促す機会をつくり、会員増強に繋げていきたいと思っております。

### 支部の事業計画、方針

通常総会開催・新入会員歓迎会開催・納涼会開催・賛助会開催・クリスマスパーティー開催・賀詞交歓会開催・研修見学会開催・情報交換会開催・本部事業への参加・土浦市の事業への参加協力など、多岐にわたる活動を実施しております。各担当委員長・部長が中心となる土浦支部であり、今後もこの活動形態を継続し、支部活性化に努めていきたいと思っております。又会員減少している状況下のなか、事業活動が会員個々の過度な負担にならないよう、又会員からの意見に耳をかたむけ、土浦支部の継続に努めていきたいと思っております。

筑波支部長 長瀬 行弘



筑波支部においては、前支部長の相澤さんの時代から、委員会体制による活動にシフトしています。支部会員が、建築士会活動に、今まで以上に参加しやすい意義のある支部活動を目指しています。今年度も、7つの



委員会と事務局体制で組織され、監事、顧問にも指導を仰ぎながら活動しています。今年、つくば市にSDGsパートナーズ団体会員として認定されましたのでSDGs

s委員会を発足させました。委員会メンバーによって、支部主催のマルシェ（市場）開催の企画も挙がっています。まちづくり再生委員会では、つくば市が行った「地域活性化プラン」コンペに2年連続して応募し、2年連続してファイナリストとなりました。また、青年委員会では、コロナ禍の中、バイト職を失った学生の手助けにと、筑波大学の学生課を通じて支部会員企業と、バイトを希望する学生とのマッチングを行いました。

今年こそ、支部のホームページを作成して、分かりやすい情報発信をして行きたいと思っています。現状は、HPの前段階として、Facebookを利用しています。ぜひご覧になって下さい。



CYCLEingSakuragawa



筑波支部Facebook



## 行方支部長に就任して

行方支部長 原 正樹



### ・就任にあたっての抱負

このたび、5月20日の役員会に於いて行方支部長を引き受ける事となりました。本来なら支部総会にて会員の皆様がそろったところで就任するところでしたが、コロナの影響で委任状による役員会での就任となりました。

私が建築士会に入会した13年前は会員数も100名以上でしたが、今年度は62名になってしまいました。会費を安くしたりしましたが減少に歯止めがかかりません。高齢化も問題です。なかなか難しい問題ですが若い建築士の入会、魅力ある支部活動による会員の退会防止などを最優先に考えていきたいと思ひます。

### ・支部の事業計画及び方針など

1. 魅力ある支部作りで支部会員の皆様の支部活動への積極的な参加
2. ホームページの作成などによる外部への発信
3. 地元行政機関と空き家問題や災害時の協力などの取り組み

二年の任期ではございますが、会員の皆様と一緒に支部を活性化していきたいと思ひますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

## 褒 賞 ・ 表 彰

おめでとうございます。

令和2年

黄綬褒賞

筑波支部 理事  
(株)大和田建設 代表取締役  
(株)大和田建設一級建築士事務所  
大和田 米吉 氏



令和2年

国土交通大臣表彰  
(建設事業関係功労者等)

土浦支部 理事  
(株)増山栄建築設計事務所  
代表取締役  
増山 栄 氏



# 支部長・委員会委員一覧

## 支部長一覧

支部名	氏名	勤務先
北茨城	篠原 武司	(株)安心確認検査機構
久慈	市川 三和子	イチカワ建築設計事務所
高萩	佐藤 利雄	日興建設(株)
日立	梅原 郁夫	梅原材木店
ひたちなか	川又 晴彦	川又晴彦建築設計事務所
鹿島	内芝 良吉	(株)鹿島テクノス
県央	高槻 一雄	(有)高槻建築設計事務所
県庁	足立 信幸	建築指導課
JR水戸	清原 利彦	JR水戸 設備部建築課内
行方	原 正樹	(有)原建築事務所
鉾田	桐原 栄	桐原建築
古河さしま	長谷川 正幸	長谷川建築設計事務所
桜川	鈴木 孝和	和設計室
下妻	広瀬 元二	(株)広瀬設計
常総	岡田 一夫	岡田建築設計事務所
筑西	中山 和朗	(株)中山工務店
坂東	森 均	森建築設計事務所
結城	小貫 廣利	小貫建設(株)
石岡	島田 哲	島田建設(株)
稲敷	新田 孝司	(株)新田工務店
北相馬	土井 金哉	山王建材(株)
筑波	長瀬 行弘	(株)ノーブルハウジング
土浦	塚本 美明	(株)ジュン設計
竜ヶ崎	秋山 穰	穰建築設計事務所

## 総務・企画委員会

役職	氏名	勤務先
副会長	高槻 一雄	(有)高槻建築設計事務所
常務理事	益子 一彦	(株)三上建築事務所
理事	小林 澄夫	繁建築設計事務所
理事	鈴木 啓之	(有)アップル建築設計事務所
委員長	小川 憲一	(株)戸頃建築設計事務所
副委員長	横須賀 孝	(株)横須賀満夫建築設計事務所
委員	根本 洋一朗	(株)根本建築設計事務所
委員	久野 正行	久野建築設計室
委員	石黒 洋子	(有)マツバラデザイン
委員	椎名 康一	椎名建築設計事務所
委員	飯島 洋省	(株)and HAND建築設計事務所

役職	氏名	勤務先
委員	根本 周作	(株)根本工務店
委員	潮田 浩	(有)常総企画潮田建築設計事務所
委員	藤田 康広	(株)オセヤ一級建築士事務所

## 研修委員会

役職	氏名	勤務先
副会長	川又 晴彦	川又晴彦建築設計事務所
常務理事	久保田 吉文	(有)クボタ建築設計事務所
理事	小貫 廣利	小貫建設(株)
理事	梅原 郁夫	梅原材木店
委員長	加藤 繁治	
副委員長	長谷川 隆浩	長谷川産業一級建築士事務所
委員	長谷川 正幸	長谷川建築設計事務所
委員	沼田 弘次	M'sBox建築設計事務所
委員	久米 恒雄	久米建築設計事務所
委員	石井 浩光	(株)三上建築事務所
委員	郡司 政美	郡司建築工業所
委員	鈴木 弘	(株)and HAND建築設計事務所
委員	井坂 光宏	(株)ヤマト建築設計事務所
委員	斉藤 保弘	(有)丸斉建築
委員	石井 邦明	石井邦明デザインスタジオ
委員	渡辺 真美	テクテク・ケンチク事務所

## 情報・広報委員会

役職	氏名	勤務先
副会長	川又 晴彦	川又晴彦建築設計事務所
常務理事	中山 和朗	(株)中山工務店
理事	児玉 欽司	(株)環境工作室
理事	成田 孝成	(株)幸田
委員長	大山 早嗣	(株)大山都市建築設計
副委員長	武居 公江	(株)タケイ・アーツ
委員	浅野 祐一郎	(有)浅野建築設計事務所
委員	石黒 幸喜	一級建築士事務所イグイ
委員	埴 万治	ハナワ建築設計事務所(株)
委員	軽部 守彦	軽部建築設計事務所
委員	澤 畑 一成	(株)清水建設
委員	山田 一博	(株)桜設計事務所
委員	中村 正明	(株)中村工務店設計事務所
委員	谷 島 正憲	(有)谷島ホーム機器

## まちづくり委員会

役職	氏名	勤務先
副会長	武村 実	武村建築設計事務所
常務理事	潮田 充	(株)潮田建設
理事	豊崎 晋也	IBA建築事務所
理事	森 均	森建築設計事務所
委員長	岩永 至功	(有)時空遊園
副委員長	永井 昭夫	永井昭夫建築設計事務所
委員	梶 ひろみ	梶ひろみ建築設計室
委員	津田 むつみ	T's設計室
委員	高橋 文男	(株)高正建設
委員	鎌田 富士夫	鎌田建築アトリエ
委員	篠根 玲子	一級建築士事務所re'Design
委員	田中 一博	(有)田中設計事務所
委員	片岡 俊之	東海村役場
委員	清水 雅史	(有)清水忠建築設計事務所
委員	松田 祐光	(株)生空感
委員	栗原 力男	(株)栗原建設

## 会員委員会

役職	氏名	勤務先
副会長	武村 実	武村建築設計事務所
担当常務	岡田 一夫	岡田建築設計事務所
理事	内芝 良吉	(株)鹿島テクノス
理事	市川 三和子	イチカワ建築設計事務所
委員長	根本 勝義	(株)根本工務店
副委員長	小川 雅良	小川建設(株)
委員	清水 洋一	(株)清水建設
委員	和田 淳一	淳設計工房
委員	渡辺 章夫	(有)ムーブ建築設計事務所
委員	柳下 文江	(株)ハース
委員	坏 浩一	(有)a.c./建築計画室
委員	青木 孝二	(株)青木住設
委員	吉田 進	(株)吉田工務店
委員	加藤 宜之	加藤木工
委員	鈴木 邦夫	かい設計工房
委員	小暮 真一	(有)金光工務店
委員	青山 裕之	青山建設(株)

## 青年委員会

役職	氏名	勤務先
委員長	早川 敏史	(株)早川建築事務所
副委員長	菅澤 達行	(株)増山栄建築設計事務所
副委員長	住谷 将旨	大洗町役場

役職	氏名	勤務先
委員	櫻井 充	(有)荻建築設計事務所
委員	藤田 康広	(株)オセヤ
委員	伊東 肇	伊東建築工業(株)
委員	加藤 雅史	加藤雅史建築設計事務所
委員	君島 拓弥	(有)けっそく設計
委員	大川 佳史	東海村役場
委員	谷田川 治彦	谷田川建築
委員	皆川 尚之	(株)長岡屋
委員	茂垣 直樹	m・style
委員	一色 信宏	Nido architects
委員	大鐘 孝弘	(有)大鐘工業
委員	清水 智之	茨城県庁：都市計画課
委員	雨甲斐 晃	雨甲斐建築設計

## 女性委員会

役職	氏名	勤務先
委員長	小貫 弘巳	小貫計画
副委員長	轡田 久恵	(株)柴建築設計事務所
副委員長	橋本 珠美	アトリエ・たまん
委員	大谷 美由紀	武田建築設計事務所
委員	桑原文子	Nido architects
委員	小林 明江	(株)建築設計工房 匠工房
委員	近藤 あすか	(株)皆川美術建築設計事務所
委員	長山 智子	包建築設計室
委員	根本 恵美	
委員	平沼 清美	(株)オーデック

## CPD委員会

役職	氏名	会社
副会長	高槻 一雄	(有)高槻建築設計事務所
委員長	小川 憲一	(株)戸頃建築設計事務所
副委員長	大山 早嗣	(株)大山都市建築設計
委員	根本 勝義	(株)根本工務店
委員	加藤 繁治	
委員	岩永 至功	(有)時空遊園
委員	早川 敏史	(株)早川建築事務所
委員	小貫 弘巳	小貫計画





建築作品紹介

# 下妻市立下妻中学校

## 設計 主旨

### □立地と計画の背景

下妻中学校は筑波山の西方、豊かな田園が広がる市域の中心に位置する中学校です。かつて農業用水確保に苦心した先人たちによって造られた貯水池・砂沼を取り囲む広域公園に隣接し、沼面越しに紫峰筑波を望むことができる恵まれた環境にあります。5 haに及ぶ広い敷地をこれまで以上に有効に活用するために、老朽化した校舎の建て替えとそれに伴う駐輪場や運動場にまで及ぶ全面的な再整備を行いました。

### □配置と全体構成の方向性

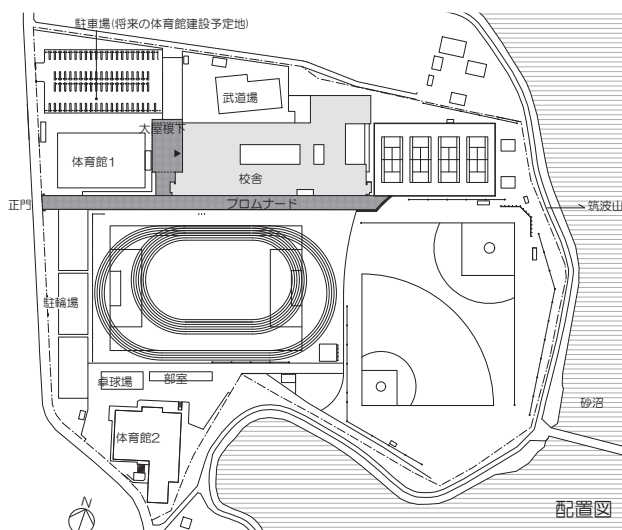
西側正門から東方にそびえる筑波山を向く軸線上にプロムナードを設定し、校舎をこのプロムナード

に沿って敷地北側に直線状に配置しました。3層から成る外観は階ごとに異なる操作を施して、筑波山を指し示す強い方向性と中学校に相応しい躍動感のあるものとししました。

### □平面構成

普通教室は、2階3教室と3階3教室計6教室をひとまとまりの学年ブロックとして、3つのブロックを横方向に並べ、その間にはWCや階段等を設け、異学年を緩やかに分節しています。

西側を向く昇降口前には大屋根空間を設け、近い将来に既存体育館が解体された暁には学校の顔となるように、懐の深い構えを作りました。当面は西側に建つ体育館と大らかに行き来でき、登下校時や運動場への出入りの際のバッファゾーンとなり、雨天



### ■建物概要 / 下妻市立下妻中学校

- 所在地 茨城県下妻市長塚字新田大道東乙37番2他
- 設計・監理 株式会社 三上建築事務所
- 施設機能 中学校
- 敷地面積 50,690.47㎡
- 建築面積 3,818.49㎡
- 延床面積 8,397.89㎡
- 規模・構造 RC造(一部S造) 地上3階

時には軽運動もできる半屋外空間として供していません。

昇降口を入った正面には大階段があります。校舎の中心に子どもたちの休み時間の交流や集会などに活用できるシンボリックな空間を設けました。この大階段を上った南側に普通教室群、北側に特別教室群を、中庭を挟んで配置しています。

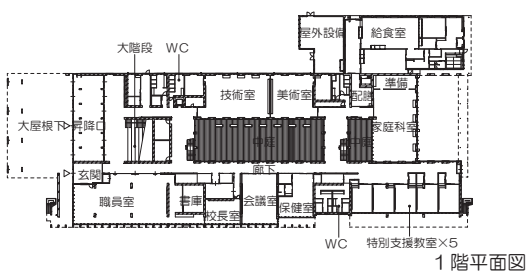
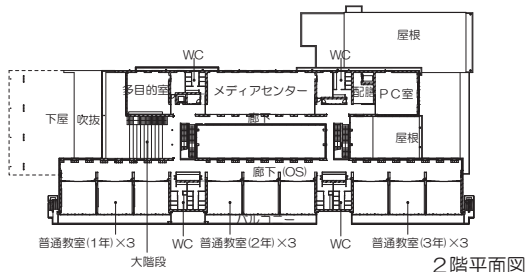
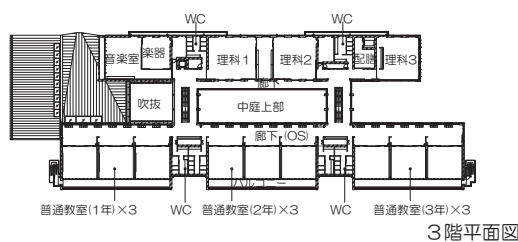
### □技術な方策

短手方向、長手方向ともに耐震壁を設ける強度型の構造を採用しています。短手方向の教室間の間仕切りは乾式工法として将来の変換性を確保しながら、教室端部やWC等共用部分を耐震要素とし、長手方向では千鳥に耐震壁を配置して、開口部の確保と耐震要素を両立させています。

耐震壁と同厚の扁平な柱によって凹凸のない壁面と梁型のないヴォイドスラブによって平らなスラブ下をつくり、設備配管の融通性と将来の変換性を確保しています。

校舎中央にはリニアな中庭を設け、1階技術室・美術室の屋外作業スペースとすると同時に、各教室の2方向の開口部によって通風と採光を確保しています。

南側に配置した普通教室の外部には奥行きのあるバルコニーや庇を設けて、夏季の直達日射を遮蔽し、冬季の直射日光を制御して、空調負荷・照明負荷の



低減を図っています。また、屋根・外壁は外断熱工法を採用しています。躯体外部にウレタンフォーム吹付とし、屋根はガルバリウム鋼板で葺き、外壁は同材で覆い、断熱性能の強化による熱負荷の低減、外装の長寿命化、漏水可能性の排除という3つの役割をもたせています。



体育館と昇降口をつなぐ大屋根下



長手方向の耐震壁となる千鳥壁

# Welcome Freshman!!



**小堀 妙子** 53歳  
支部名：鹿島支部

- ①小堀 妙子 53歳 鹿島支部
- ②株式会社泉ハウジング（賃貸管理会社）
- ③25年前に建築会社で設計の仕事をしていた時に取得した資格を子育てを終えて又活かせるチャンスを現在勤め先の社長より頂きました。どうぞ宜しくお願い致します。
- ④建築士会が開催する講習やイベント・セミナーに参加してお部屋のリフォームやリノベーション等に活かしていけたらと入会致しました。2年前に既存住宅状況調査技術者資格と応急危険度判定士資格を取得致しました。
- ⑤現場見学会や施工などの体験型セミナーや意見交換など企画頂けたら参加させて頂きたいです。
- ⑥お客様に喜んで頂ける提案やアドバイスが出来る建築士としての知識を深めたいと思っています。

- ①岡嶋 利光 39歳 結城支部
- ②職歴 民間建設業9年、市役所職員8年  
職域 建築施工管理、下水道施設維持管理
- ③民間の建築施工管理業務を経て、市役所へ入庁し都市計画課で5年、下水道課で3年目になります。現在は、建築業と少し離れておりますが、これまでの経験を活かしつつ新しいことも吸収し日々業務に取り組んでおります。
- ④建築業界と少し離れておりますので、情報や交流を深められたら幸いです。
- ⑤具体的に把握できてなくて申し訳ありませんが、極力、参加していきたいと思えます。
- ⑥スクラップ&ビルドの時代から、ストック型社会へ移行している昨今、無駄のない合理的な社会づくりの一助となれば幸いです。



**岡嶋 利光** 39歳  
支部名：結城支部



**伊佐岡 健一** 37歳  
支部名：結城支部

- ①伊佐岡 健一 37歳 結城支部
- ②市役所職員
- ③この度、茨城県建築士会に入会させていただきました伊佐岡と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。
- ④技術力の向上や、建築業務に関わる会員の皆様との交流を深めたいと思ひ入会しました。
- ⑤講習会や見学会など
- ⑥人との繋がりを大切にしながら、業務に必要な知識を身につけられるよう努めたいと思ひます。

- |        |                      |
|--------|----------------------|
| ①氏名・支部 | ④入会の目的               |
| ②勤務先   | ⑤建築士会に期待する活動・参加したい活動 |
| ③自己紹介  | ⑥建築士として将来の目標         |



**久保田 健助** 49歳  
支部名：筑波支部

- ①久保田 健助 49歳 筑波支部
- ②つくば市内の工務店に勤務しています。住宅設計・監理業務と現場管理などを行っています。
- ③知人の建築士の紹介で、筑波支部に入会させていただきました。建築とはあまり関係ないかもしれませんが、生き物が好きで休日には夫婦で庭いじりや動物の世話をしています。
- ④講習会や見学会、士会企画のイベントなどに参加し、地元地域で活躍されている皆様との交流や、知見を深める機会になればと思いい入会しました。
- ⑤建築物や土地のサーベイと、そこから見出される何らかのヒントを得られるような活動に参加してみたいです。
- ⑥建築をよりどころにして環境やひとに貢献できるような仕事をしていきたいです。よろしくお願いいたします。

- ①伊藤 達哉 25歳 JR水戸支部
- ②JR東日本 水戸建築技術センター
- ③鉄道に関わる建築物の設計や工事管理の業務を行っています。  
趣味は旅行と星の写真を撮ることです。週末は所属している草野球チームで野球をしています。
- ④建築士として最新の建築情報を取り入れる事を目的に入会しました。  
様々な講習会やイベント・セミナーを開催して頂いているので積極的に参加したいです。
- ⑤カメラが趣味なのでフォトコンテストに応募し写真を通じて建築の魅力を伝えたいです。
- ⑥建築知識の更なる向上と建築職としての経験を積み鉄道建築技術者として活躍することが目標です。



**伊藤 達哉** 25歳  
支部名：JR水戸支部



**MATSUMOTO-SOUKEN**

株式会社 **松本総建**

代表取締役会長 **松本 一幸**

— **特定建設業** —

茨城県知事許可(特-29)第21680号

関東中央支店 〒311-0106 茨城県那珂市杉410-2  
TEL 029-295-7715(代)  
FAX 029-295-6548

本社 〒311-4152 茨城県水戸市河和田2-9-5  
第一機材センター 〒311-0106 茨城県那珂市杉407-1  
第二機材センター 〒311-0133 茨城県那珂市鴻巣白旗1195-1

《 営業内容 》 ■ 枠組足場工事 ■ 次世代式先行手摺足場工事 ■ 鉄骨建方工事  
■ 建築土工事 ■ 足場提案企画





## 令和2年度 既存住宅状況調査技術者講習 レポート

令和2年9月8日、茨城県建設技術研修センターにおいて「既存住宅状況調査技術者講習」を開催致しました。

既存住宅状況調査技術者とは、平成29年2月に創設された既存住宅状況調査技術者講習制度による新しい技術者資格です。

宅地建物取引業法の改正により、平成30年4月より、中古住宅の売買の際に行われる重要事項説明に、既存住宅状況調査を実施している場合にはその結果について説明することが義務づけられました。

この調査を行うことができるのは、既存住宅状況調査技術者の資格を持つ者のみとなっており、従来のインスペクターの資格では行うことができません。

今回の講習は既存住宅状況調査技術者の資格を取得するためのものです。

講習では、講義1で「不動産流通市場の現状と国の取組状況」、「既存住宅状況調査技術者の役割」、「既存住宅状況調査の概要、調査手順」などを学び、講義2で木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造の各構造における状況調査方法基準、検査機器や調査報告書

の記入方法などを学び、最後に35分間の修了考査を経て閉会となりました。

これからの人口減少社会での住宅ストックの活用において、今後非常に重要な資格となる講習でありました。

研修委員会では、これからも法律改正時のタイムリーな講習会や定期的な講習会などを会員の皆様の要望に合わせて随時開催してまいります。ぜひご参加下さい。





## 茨城県震災建築物 「応急危険度判定士」講習会の開催



令和2年9月16日、茨城県庁9階講堂において「応急危険度判定士」講習会が開催されました。今回の講習は、コロナ禍での開催ということで、例年とは少し異なり、受付時に検温、消毒、マスクの着用を促す等の対策を行いました。また、座席も受講者間の距離を保つように配慮し、換気にも気を配り、そして本日の受講生82名の方々にご理解と協力をお願いしての講習会となりました。

あいさつでは茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長に代わり、山本課長補佐からこの判定士制度の概要と重要性、そして意義についてお話がありました。同時に今までの判定活動への感謝ものべられておりました。

その後、第一編として応急危険度判定の基準と成り立ち、そして概要を建築指導課江里口技師よりお話頂きました。2020年9月現在で、茨城県内においては2,228名の判定士を養成しているとのこと。また、実際の活動としては、2004年新潟県中越地震、2007年新潟県中越沖地震、2011年東北地方太平洋沖地震、そして2016年熊本地震などにおいて派遣の実績があります。その判定活動の事例として、2016年の熊本地震の際に、実際に現地入りし行った活動・体験について感じたことを建築指導課鈴木主任より、話がありました。活動の様子が分かる写真と共に具体的にあった出来事、訓練や想定ではできない現場の生の体験談は、実感がわく内容でした。判定活動時に出会った住民の方の生の声、茨城空港

での手荷物検査の話などの実話は、やはり印象に残ります。私自身、2011年に判定活動を行ったことがありますが、その時のことを思い出しました。

判定士は、余震による建物の危険性を判断し、人命に関わる二次被害を防止するのが第一の目的となっています。知らない土地で、限られた時間の中で効率よく調査を行うことが求められます。もしかすると、事務的に数をこなす判定調査になる可能性がありますが、実際にはそこで生活されている住民の方々とのコミュニケーションが最も重要で、その方々に寄り添った説明、適切な話し方、わかりやすい説明が必要です。少しでも人々の不安を取り除き、安心して頂くことができれば、判定活動の本当の意味があるのかもしれない。

第二編としては、調査実務のマニュアル、実際の取り組み方、調査で見るところ、判定調査シートの記載方法などの講話がありました。木造に始まり、鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄筋鉄骨コンクリート造という順番で基本的な診断方法と、注意点など、スライドを見ながら理解を深めました。

最後は、震災の教訓として2011年東北地方太平洋沖地震の際の報道などの様子がまとめられた映像を見て終了となりました。

いつ来るかわからない災害に備え、少しでも安心安全に暮らせるようにこの茨城県震災建築物応急危険度判定制度とその活動に今後もご理解とご協力を頂きたいと思っております。

この判定士として認定を受けるために建築士会が協力し、茨城県が主催する講習会は年に1回開催しております。受講料・テキスト代ともに無料です。皆様の参加をお待ちしております。





始球式



優勝 県庁支部



準優勝 筑波支部

## 第44回ソフトボール大会 優勝は県庁支部チーム

令和2年9月19日(土)、水戸市東野市民運動場にて、第44回ソフトボール大会(県大会)は、今年はコロナ禍対策をしながらの開催となりました。決勝戦は県庁支部チームと筑波支部チームの対戦が行われ、優勝は県庁支部でした。小雨も降りましたが、怪我人も無く、無事に開催できました。お忙しいところ各支部から参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。

優勝 県庁支部チーム

準優勝 筑波支部チーム

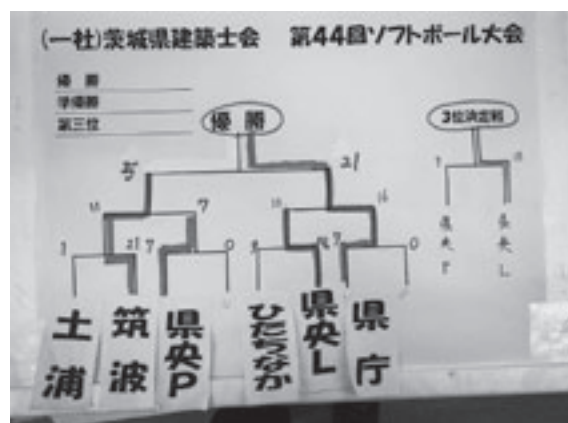
3位 県央支部Lチーム

4位 県央支部Pチーム

最優秀選手 広瀬健二さん(県庁支部)

敢闘賞 矢口道大さん(筑波支部)

副会長賞 上野一郎さん(県央支部)





## 三上建築事務所

Kazuhiko Mashiko Architect & MIKAMI Architects

所長 益子一彦

[www.mikami-arc.co.jp](http://www.mikami-arc.co.jp)

水戸オフィス 〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-4-36

3-4-36 Ohmachi, Mito-city, Ibaraki, 310-0062 Japan

TEL +81-29-224-0606 FAX +81-29-226-3778

東京オフィス 〒110-0015 東京都台東区東上野 1-1-1 O&K1.1.1ビル 4階

O&K1.1.1 Bldg., 4F, 1-1-1 Higashiueno, Taito-ku, Tokyo, 110-0015 Japan

TEL +81-(0)3-5817-8184 FAX +81-(0)3-5817-8194

九州オフィス 〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央 3-14-31 サンフィールド佐賀 401号

Sunfield Saga, 401, 3-14-31 Ekimaechuo, Saga-city, Saga, 840-0801 Japan

TEL +81-(0)952-37-7630 FAX +81-(0)50-3730-7134

# 20th Anniversary

**OOMA** 株式会社 大山都市建築設計

Oyama Office for Metropolitan Architecture

<http://www.ooma.co.jp/>

〒309-1106 茨城県筑西市新治1996-56

TEL. 0296-21-7005 FAX. 0296-21-7006

E-mail: [info@ooma.co.jp](mailto:info@ooma.co.jp)

OOMA-MITO 水戸設計室

〒310-0041 茨城県水戸市上水戸3-5-15-102

TEL. 029-291-6340 FAX. 029-291-6341



## 「電気契約 5アンペアで暮らす」

■土浦支部 赤木 裕子

コロナ禍で自粛を余儀なくされていたため、久しぶりのセミナーでした。

7月30日(木)土浦市三中地区公民館に於いて、電気契約5アンペアで生活をされている、早川幸子さんのお話をお聞きしました。

「5アンペアで暮らすとはどういうことなのか？」にわかには意味が分からなかった、というのが正直な感想です。まず電気の最低契約が5アンペアということも、初めて知りました。

初めに、5アンペアで一度に使える電気は500Wまでということ、使える電気製品を教えてくださいました。冷蔵庫洗濯機をはじめ、思っていたよりも使える製品があることに驚き、我慢をするというよりは、楽しく工夫をしながら生活をしていることがわかりました。例えば、箒、土鍋、蒸し器、蚊帳、湯たんぽなど、昔の道具を使うこと。ガスは使うので、調理や暖房は不自由なく、テレビ、電気ポット、コーヒーメーカーなど使わなくてもよい電気製品とはサヨナラ。消費電力の目安を知り、アンペアを足し算して併用できる電気製品を考えて順番に使うとのこと、頭の体操になりそうですね。

個人的にはテレビのない生活は考えられませんが、共感できることもあり、全てを電気に頼っている現

状を見直す機会にもなりました。

裸電球がぶら下がっていた田舎での幼少時代、かまどでご飯を炊き、風呂は薪で沸かし、炭の火鉢と炬燵で暖を取り、夏は障子を明け放して自然の風と団扇が大活躍。水道も無く、当時は不便と思うことの方が多くて、便利な生活を求めて今日まで突き進んできましたが、原風景である里山の風景とともに、あの頃の暮らしが懐かしく思い出されます。

そうはいつでも、中々元に戻れない現実があります。

早川さんが声を大にして訴えたいことは、

『私の5アンペア生活よりも、みんなのマイナス10アンペア！』

だそうです。これなら少しは頑張れるでしょうか？



# 「雨漏りの実例と対処方法」

■土浦支部 平島 かよ子

8月27日(木)土浦三中地区公民館にて、わくわくセミナーを開催しました。講師は建築士会会員の中山 修一さんにお願ひしました。防水工事専門の株式会社 星斗防水工業 代表取締役をされています。ご自分の過去の仕事の経験の中から、特に雨漏りの発生が起りやすい箇所の事例また、どのように対処できたか等をパワーポイントにより詳しく説明して頂きました体験に基づき作成された資料ですので、説得力のある解りやすい内容でした。材料・材質・デザインのすべてが日進月歩の開発により進化しているのに『雨漏り』がなくなる現実に向き合い、一件でも多く対策により解決することを目指しての勉強会でした。

なかなか終息の見えないコロナ禍の中、講師・参加者の皆様にはマスクの着用・手指の消毒・ソーシャルディスタンスの確保など細かな制約にご協力頂きセミナーを終える事ができました。改めて感謝申し上げます。



# 「田んぼに家をたてる」

■土浦支部 眞鍋 道子

9月24日(木)土浦支部三中地区公民館にて、わくわくセミナー「田んぼに家をたてる」に参加しました。講師はNKハウジング(株)の海老原正美社長です。農家の次男として生まれ、今でも農業を続けられていて、趣味は米作りという方でした。

一般の方が農地を購入して家を建てるということは難しいですが、家族から農地を譲り受けて家を建てるというケースはしばしば見受けられます。田んぼなどの農地に家を建てる場合、一番心配なのは地盤や土壌の安全性ではないでしょうか。田んぼは農業従事者の高齢化により管理の甘い田んぼが増えているということです。水路の掃除が行き届いていないところは要注意です。暗渠を入れていた田んぼもどこに入っているかわからなくなっているところも多いそうです。田んぼは床がとても大事でトラクターなどのとても重い機械が埋まらないのは床があるからだそうです。床をやぶってしまうとズブズブになってしまいます。田んぼを見極めるには、まわりを見るとヒントがあります。山際か水路が高いところにあるか、水が土地の下に流れていな



いか、水が下に入ると手のつけようが無いということです。土の下には隠れているものがいっぱいあるので見極めることは難しいと思いました。



## 9月ラブアークセミナー

# 「明日からできる！整理収納セミナー」

■ 行方支部 大谷 美由紀

令和2年9月29日(火)に茨城県総合福祉会館にて、ラブアークセミナー「明日からできる！整理収納セミナー」を開催しました。コロナ禍で3月のラブアークセミナーが延期になって以来、久しぶりの開催です。セミナーは、アルコール消毒を行ない、ソーシャルディスタンスを十分にとったうえで行われました。

外出自粛期間などもあり自宅で過ごす時間が増えてきたなか、身の回りの整理、整頓、収納、片付けは多くの方が実行したい関心のあるテーマだと思います。

講師は、士会会員であり、建築設計、アクセサリ制作の仕事しながら昨年、整理収納アドバイザー1級の資格を取得した桑原文子さんをお願いしました。

セミナーは「理想の暮らし」について考えてみることから始まりました。各自それを具体的にイメージし、目標を書き出しました。次に、どのように実践していくかを考えます。講師に整理・整頓の仕方やコツ、手順を教えて頂き、アドバイスをしてもら



います。整理収納の悩みや困りごと、自分の整理整頓の仕方などを参加者で意見交換しながら考えていきました。皆さんのお話も聞けたことは大変参考になりました。

セミナーを受講しモチベーションが上がったところで、「1日5分でもいいんですよ」という講師の言葉を思い出し、早速行動に移していきたいと思



富士カントリー笠間倶楽部 

おかげさまで  
みなさまに愛されて42年

〒309-1602

茨城県笠間市池野辺 2523 番地

TEL 0296-72-8111

FAX 0296-72-8534

URL <http://www.kasama-club.com>

※オンライン予約も承っております



# 確認を!!



# 建築士免許の、

※カード型免許証明書の他に、紙・免状型(平成20年11月27日改訂まで発行)の免許証もあります。

## — 建築士免許の提示は法令で定められています —

○ 建築士免許証等の提示の義務化  
(建築士法第19条の2)

建築士は、委託者(これから委託しようとする者も含む)から求めがあった際、建築士免許証又は建築士免許証明書を提示することが義務づけられています。

○ 重要事項の説明等  
(建築士法第24条の7第2項)

管理建築士等は、建築主と契約的に重要事項の説明をするときは、当該建築主に対し、建築士免許証又は建築士免許証明書を提示しなければなりません。

○ 書面による契約締結の義務  
(新設 第22条の3の3)

延べ面積が300㎡を超える建築物の新築に係る設計受託契約又は工事監理受託契約について、書面による契約締結が義務づけられています。

### 日本建築士会連合会では、 カード型免許証明書への書換えを推奨しています

詳しくは  
WEBで検索!


日本建築士会連合会

検索

<http://www.kenchikushikai.or.jp/touroku/index.html>



 国土交通省

 中央指定登録機関  
(公社)日本建築士会連合会

# 豊かな技術で未来を創造する

●パイル製品 (FC強度 123N)

●摩擦杭 (BF) Hi-SC、SC、DAM、SL、PHC、MS-ST、TP ジョイント (無溶接杭)

Hybrid ニーディング工法 (施工品質管理強化高支持力杭工法  $\alpha=336 \sim 880$ )

●特認工法 Hybrid ニーディング工法II (施工品質管理強化高支持力杭工法  $\alpha=350$ )

SUPER ニーディング工法 (高支持力工法  $\alpha=425 \cdot 600$ )、SUPERDANK 工法 (中掘高支持力工法  $\alpha=425$ )、ニーディング、NEW ニーディング、Lev-Pile 構法、ST ニーディング工法、DANK、STJ 工法 (中掘拡大根固め工法)、BFK 工法 (異形摩擦杭確定工法)



## 三谷セキサン株式会社

茨城営業所 〒310-0062 茨城県水戸市大町3丁目1-26 (岡崎ビル)

☎(029) 221-7768

FAX (029) 221-7749

福井本社 〒910-0857 福井県福井市豊島1丁目3-1 (三谷ビル)

☎(0776) 20-3333 (代)

FAX (0776) 20-3334

東京本社 〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目19-6 (柳橋ファーストビル9階)

☎(03) 5821-1120 (代)

FAX (03) 5821-1121

事業所：福井 (福井・金沢・七尾・新潟)、東京 (東京・茨城・埼玉・千葉・横浜・仙台)、札幌、大阪 (大阪・京滋)、名古屋 (名古屋・静岡)、中四国 (岡山・愛媛・広島)、九州 (福岡・熊本・佐賀・鹿児島)

<http://www.m-sekisan.co.jp/>

建築設備設計・監理 (一社) 茨城県設備設計事務所協会加盟



株式  
会社

## 菊地設備設計事務所

代表取締役 菊地 繁

事務所 / 〒310-0031 茨城県水戸市大工町3-4-24

TEL 029 (227) 2725(代)

FAX 029 (227) 2744

一級建築士事務所

## 川又晴彦建築設計事務所

茨城県建築士会ひたちなか支部支部長

川又 晴彦

〒312-0003

茨城県ひたちなか市足崎1302-30

TEL : 029-219-6220 FAX : 029-219-6227



設計 & 監理

株式会社 柴 建築設計事務所

水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル7階

TEL.029-227-0222 [代]

FAX.029-231-0960



一般社団法人  
茨城県建築士会